

被災した歴史資料(古文書・古写真等)についてお困りの方へ

令和元年 10 月 16 日
水戸市立博物館

水戸市立博物館と茨城史料ネットでは、台風 19 号により被災した歴史資料の相談を受け付けています。

今回のような災害では、大切な家屋や財産とともに、昔から伝わる古い書類や手紙、写真、書画、骨董品なども傷んでしまうことが多くあります。

また、蔵や倉庫などを片付けているなかで、これまで気付かなかった古い物が見つかることもあります。

こうした資料は、地域の歴史を記録した、かけがえのない文化財です。水や泥に浸かってしまった場合でも、適切な処置を行うことで、修復が可能な場合があります。

被災した歴史資料をどうしたらいいのか分からないとき、お困りのときは、水戸市立博物館または茨城史料ネットまでご相談ください。

こんな時は、ご相談ください

- ◆ 和紙にくずし字で書いた文書、和紙に書かれている冊子、古い絵図・日記・手紙・はがき・写真などが、水や泥まみれになってしまった。
- ◆ ご先祖から伝わった古い道具（骨董品や民具）や古美術品などが、今回の災害でこわれてしまった。
- ◆ 自宅を片付けていたら、なにか古いもの（古文書、古美術品・古い書類など）が出てきたが、どう取り扱ってよいのか分からない。
- ◆ 古い書類や骨董品の今後の保管について心配がある。

【ご相談先】

水戸市立博物館 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-3-20 担当 関口・藤井
電話 029-226-6521 / FAX 029-226-6549 / メール museum@city.mito.lg.jp

茨城史料ネット事務局 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1
茨城大学人文社会科学部添田仁研究室
電話 029-228-8118 / メール hitoshi.soeda.carp@vc.ibaraki.ac.jp